

平成20年度 東大阪市豊かな環境創造基金活用事業成果発表

東大阪市立縄手南幼稚園

1. はじめに

活動名 「幼児期からの環境教育を考える」
事業目的 幼児期から自然を身体で感じ、自然を大切にすることを育むことを目指し、多様な体験のできる教育環境作りの一環として、ビオトープ作り・虫の棲みかづくりの取り組みを通して、園児・保護者が一体となり環境について考える機会とする。また教職員の資質向上を図り、共に学び合う機会とする。

3. 成果と課題

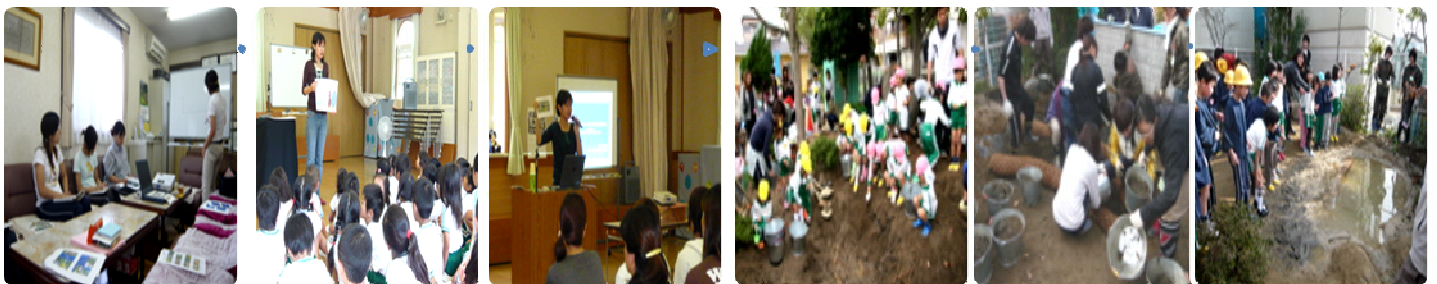
- ・教職員の自然に対する知識の向上が図られ、保育内容にも活かされ保育が充実してきた。
- ・子ども達の自然に対する関心も深まり、探索・発見・気づきの楽しさを感じている姿が、多く見受けられた。
- ・保護者の自然に対する関心も少しずつではあるが深まり、子どもとの話題の中に取り入れている姿も多くなったようである。
- ・ビオトープの完成が遅れたことで、園児への環境教育への効果への評価が得られず、今後の取り組みを通して充実を図っていきたい。

「幼児期からの環境教育を考える。」

ビオトープづくりと虫の棲みかづくり



2. 実践経過



職員研修会→園児への環境指導→保護者への講演会→池造り(園児・保護者)→修正・補修作業→完成

8月

9月

10月

11月

2月



虫の棲みかづくり

11月



落ち葉集め
11月中毎日



完成・設置
2月